

沖縄県
看護連盟
だより

うちなあ

第24号

令和5年11月

沖縄看護連盟ホームページ

<https://okinawa-kangorenmei.com/>



【発行者】沖縄県看護連盟 南風原町字大名268-2 TEL098-888-3336 FAX098-888-3340 責任者:下地孝子



会員数 2,990名

2023年10月31日現在

目次

CONTENTS

沖縄県看護連盟会長挨拶	2
日本看護連盟会長挨拶	2
沖縄県看護協会会長挨拶	3
衆議院議員あべ俊子挨拶	3
衆議院議員たかがい恵美子挨拶	4
参議院議員石田昌宏挨拶	4
参議院議員友納理緒挨拶	5
次期参議院選挙組織内候補者	5
沖縄県看護連盟通常総会報告	6
2023年度都道府県別会議報告	6

2023年度沖縄県看護連盟事業計画	7
看護連盟と看護協会の役割・連携強化	8
看護連盟会長・協会長等の施設訪問風景	9
沖縄県看護連盟青年部活動	10
ポリナビワークショップ	11
支部活動紹介	12-13
退任ごあいさつ	14
新任ごあいさつ	15
協賛広告・編集後記	16

ごあいさつ



「看護の未来」をつくるために看護連盟にできること 沖縄県看護連盟 会長 下地孝子

秋風が気持ちの良い季節になりました。会員の皆様には看護連盟活動にご協力いただき感謝

申し上げます。新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザの流行に医療機関や高齢者施設では感染対策に追われ、気を抜けない状況にあります。そのような中でも、日々看護ケアの質向上に尽力している看護職の皆様への敬意と感謝を表します。

さて、沖縄県看護連盟では7月の総会を経て新体制となりました。役員の皆様と一致団結して看護連盟活動を推進してまいります。引き続き会員の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

去った9月8日の都道府県別会議では「会員数の動向を見据えた会員確保のための対策」と「これまでの参議院選挙の課題を踏まえた今後の政治活動対策」について、

活発な議論が行われました。支部の皆様からも貴重なご意見とアイデアを多数いただきましたので、今後の活動に活かしてまいります。

9月23日に鹿児島で実施された「令和5年度九州地区ブロック協議会」では、「次世代を惹きつける看護の未来」と題し日本看護連盟青年部幹事「岡村亮憲」氏の講演の後、活発なグループワークが行われました。看護協会と看護連盟の役割について再確認する良い機会となりました。すなわち、日本看護協会は看護の実態に関するデータ収集・エビデンスの開発をもとにした「政策の提言」、日本看護連盟は議員を応援して具体的な政策実現に結び付けるための「政治活動」です。

政策の実現こそが看護の未来をつくることであり、「看護連盟会員」は「看護の未来をつくる」ことに貢献しており「自覚と誇り」を持ち邁進いたします。



日本看護連盟 会長 高原静子

皆様には平素より日本看護連盟事業にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。新型コロナ

ウイルス感染症が「5類」に引き下げられ、患者数は緩やかに増加している状況です。今なおコロナ禍にあり、最前線に対応して頂いている看護職の皆様へ改めて感謝と敬意を表します。

少子超高齢化社会の人口・疾病構造を見据えた医療制度改革においては、地域包括ケアシステムの構築や地域医療構想の推進、医師の働き方改革等、医療提供体制の再構築に向け取り組みが進められています。

新型コロナウイルス感染症の対応に翻弄させられた3年余りが過ぎ、医療現場では医師の働き方改革の施行、タスクシフト・タスクシェアの推進や業務の効率化等に迫られています。

この度、「看護師等の人材確保の促進に関する法律（平

成4年法律第86条）」が制定以来30年ぶりに改定され、人材確保と資質の向上を図りながら、あらゆる世代、あらゆる場で専門職としてその力を発揮することが求められています。こうした社会状況を踏まえ、看護職が職場の現状、経験や意見を発信し、政策提言に参画することが必要です。「看護の課題は、看護職が解決する」という意気込みが重要です。看護職議員はもとより看護を支援して下さる各級議員、日本看護連盟・看護協会、都道府県看護連盟・看護協会が一丸となり、政策実現に向け進んでまいりましょう。

2023年度日本看護連盟総会で次期参議院の組織内候補者予定者に「石田まさひろ参議院議員」が決定しました。看護職域代表の議員として2022年来の看護職の「補助金事業」「看護職員処遇改善評価料」の創設、「国家公務員医療職俸給表（三）」の改正と看護職のために尽力していただきました。皆で応援しましょう。



沖縄県看護協会 会長 平良孝美

新型コロナウイルス感染症の類型は5類に移行しましたが、完全な収束には至らず、いまだに医療機関等で再燃を繰り返しています。そのような中、日夜あらゆる場で尽力されている看護職の皆様は心より感謝申し上げます。本会も沖縄県と連携し、医療提供体制の維持のため看護人材の確保に奔走。

昨年度は、コロナに対応する医療機関の看護職の賃金引上げを図るための措置が実施され、国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表が改定されたことで、看護職員の処遇改善に向けて一歩踏み出す好機を得ました。より多くの看護職員のキャリアアップによる処遇改善を実現するには看護職全体の努力と各施設管理者や共に働く多職種等の理解が必要であるため、達成に向けて看護管理者の皆様と共に策を講じ、改善を目指したいと考えています。

国においては、感染症法や医療法の一部改正を踏まえ

た健康危機管理体制の強化について、災害や新たな感染症の発生等に備えるための体制が構築されました。それを受けて、本会でも日本看護協会と協力して「災害支援ナース」の養成研修を実施し、看護の質向上や看護人材の確保等、危機管理体制の構築に取り組んでいるところです。少子超高齢化が進展し労働力人口が減少する中、看護職の確保も厳しさを増してきており、今後ますます加速することが懸念されます。高齢化のピークを迎える2040年頃の保健・医療ニーズに対応できる看護提供体制の構築を目指して看護政策を推進しなければなりません。また、私たちは看護専門職の団体として社会に期待される役割を速やかに、効率的・効果的に果たすために戦略的に取り組まねばなりません。

看護政策実現へ向けて、沖縄県看護連盟役員の皆様方との連携を密にして臨みたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



「少子化社会におけるこれからの看護」 衆議院議員 あべ俊子

いつもご支援いただきましてありがとうございます。このたび、看護師確保のための基本指針が

30年ぶりに改定され、人材不足の解消策や新たな感染症発生への備えが盛り込まれました。看護職員数は90年代の約2倍になったものの、高齢社会を支えるためにはより多くの看護人材が必要と試算されています。特に在宅医療の需要の高まりから訪問看護ステーションの看護師不足は深刻です。今回の改定は、看護職員の処遇改善や、デジタル化の促進、仮眠や休憩ができる場所の設置など、交代制勤務を考慮した業務負担の軽減を図る内容となっています。看護師は夜勤もあり、体力的にも大変な仕事です。仕事のやりがいは金銭だけではありませんが、業務内容に見合った給与を受け取る必要があります。看護師の方々が、看護師としてのやりがいを持って働き続けることのできる環境整備に、引き続き取り組んでまいります。

産業界では技術革新が進み、多くの分野でデジタル化が進んできました。看護においても限られた人材の中で効率性が求められています。記録や書類作成の自動化ができれば、患者さんと直接対話したり、ケアを提供する時間を増やすことができるかもしれません。デジタルの活用は、効率化を進めながら、看護師の仕事をより鮮明にするのではないかと考えています。この流れの中、来年度にはICT機器の導入による看護業務の効率化やケアの質についての効果検証が始まります。

今後の少子化時代においては、人材確保の競争がより激しくなると予想されます。看護はコロナ禍において、その素晴らしい働きを称賛されながらも、業務負担の大きさも大きく取り上げられました。大変な業務だからこそ、それを乗り越えるやりがいを持っていただきたい。看護を若い世代から『選ばれる職業』にしたい。看護師の新しい働き方を、皆さまと一緒に創り上げて参ります。



衆議院議員 たかがい恵美子

金風の候、沖縄看護連盟の皆様にはつつがなくお過ごしのことと存じます。

燃料エネルギー需給安定と物価高への対応が議論される中、医療福祉介護分野で活躍する職員への手当等さらなる処遇改善についても期待が高まっているところで各地域の実情に配慮した経済対策が実現されるよう、微力を投じて参ります。また技術評価に関しては、年末年始のトリプル改定作業を控え着々と準備が進められています。とりわけ人生100年時代に相応しい感染症診療体系の整備構築を進めるうえでは、社会を構成する様々な分野の知見を取り入れることも必要となっています。近視眼的な思考に拘泥することなく新たなしくみづくりを進めて参ります。

2024年春から始まる第三次健康日本21には、「女性の

生涯の健康」が初めて、戦略の柱に位置づけられます。これまで長く取り組んできた女性政策のひとつが、まもなく各地で動き出すわけです。同様に、来年度予算編成に向けてまとめられた女性活躍・男女共同参画の重点方針2023では、女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現に向け、生涯に渡る健康支援が新たに項立てされました。人生の各段階で大きく変化する女性の健康特性に着目した多様な公共政策の充実を通じて、あらゆる世代の男女が健康的な笑顔で平穩に暮らせるよう願っています。

2021年総選挙の名簿登載により奇跡的に新たな議席をいただいて二年が経ちます。際立つ成果には至らずとも、周囲の心温まる励ましに助けられて地道な歩みを続けています。感謝を込め、皆様のご健勝を遠くよりご祈念申し上げます。



参議院議員 石田昌宏

沖縄県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

電気やガソリンをはじめ、物価の高騰により、医療機関や訪問看護事業者等は大きな影響を受けています。しかし、診療報酬等は公的価格のため、諸経費が増大しても価格に転嫁することができず、大変厳しい経営を強いられています。また、社会全体で賃上げが進む中看護職も一層の処遇改善を進ねばなりません。そこで、賃上げに必要な医療機関等の収入を増やすために、診療報酬の基本的点数である入院基本料や訪問看護基本療養費等の診療報酬の大幅な引き上げと、全ての看護職員の賃金引き上げを可能とするための財政措置を明示することを政府に求めています。また、9月5日には看護問題小委員会を開催し、令和

6年度看護関係予算概算要求に対して各看護系団体の要望を政府へ届けました。これからも皆様と協同し、全ての看護職の処遇改善を確実なものにしていきます。

6月13日に開催されました、日本看護連盟通常総会において、次期参議院議員選挙の組織内候補予定者としてご承認をいただきました。初当選以降、組織代表の看護職議員として、看護協会が提言する看護政策実現のため力を尽くして参りました。これからも現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら、看護職が「今日も良い看護ができた」と実感でき、看護職が報われる環境づくりのために、引き続き尽力して参ります。今後ともよろしく願い致します。沖縄県看護連盟益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。

今後の予定

- 沖縄県看護連盟リーダー研修会
【日時】 2023年12月14日(木) 13:00～16:00 【場所】 ロワジュールホテル那覇3階
- 沖縄県看護連盟・看護協会共催研修会
【日時】 2024年2月4日(日) 13:30～16:30 【場所】 沖縄県看護研修センター
- ポリナビワークショップ in 沖縄
【日時】 2024年3月2日(土) 13:00～16:00 【場所】 沖縄県看護研修センター



沖縄県看護連盟の皆さまへ 参議院議員 友納理緒

沖縄県看護連盟の皆さま、こんにちは!様々な局面で命と向き合い、看護を提供して下さっていることに心より感謝申し上げます。

参議院議員となり約1年が経過しました。昨年の臨時国会では、参議院厚生労働委員会で2回質問に立ち、皆さまから伺った現場の課題をふまえ質問をさせていただきました。

11月には、長年の懸案事項だった国家公務員医療職俸給表(三)も改正されました。年始に始まった通常国会では、厚労、内閣、法務など幅広い委員会で質問の機会をいただきました。新人議員ですので、いただく機会を大切に国会議員としての職責を果たしてまいります。

この一年間、参議院の委員会、自民党の各種会議、厚生労働省など役所とのミーティングなど様々な場で、処遇改善、人材確保、業務の効率化、ハラスメント対策、看護の専門性の発揮、訪問看護の推進などを訴えてまいりました。現在、石田まさひろ先生とともに、日本看護協会の各

要望事項の実現に向けて、厚生労働省の担当者との話し合いも進めています。業務負担軽減のためのDXの推進、地域における特定行為実施体制の推進など、国の政策と足並みをそろえて取り組むべき課題も多くあります。人手不足が叫ばれるなか、育児や介護と仕事が両立できる環境を作ることも急務です。少しでも政策が前に進むように力を尽くします。なお、訪問看護については、国は、第8次医療計画に、「需要が増大する訪問看護に従事する看護職員の確保対策を定める」こととし、骨太の方針2023にも「訪問看護の推進」が記載されましたので、今後の展開が期待されます。

今は、国会が閉会中です(9月現在)。全国各地にお伺いし、現場の声をきかせていただいています。現場の声を国政に!立法府である国会の一員という自覚を持ち、皆さまがより良い看護を提供できる環境を整えることができるように引き続き取り組んで参ります。今後ともご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2023年度 日本看護連盟通常総会報告



【日時】 2023年6月13日(火)

【場所】 ザ・プリンスパークタワー東京

日本看護連盟通常総会において、「石田まさひろ参議院議員」が次期参議院議員選挙の組織内候補予定者に承認されました。

2023年度沖縄県看護連盟通常総会報告

【日 時】2023年7月8日(土) 13:00~16:00

【場 所】パシフィックホテル 2階

【参加者】140名 県役員10名
委任状 2,283名 総数2,433名



看護連盟の福原美恵子会長と下地孝子新会長

審議内容

- 第1号議案 スローガン(案)
- 第2号議案 2023年度 事業計画(案)
- 第3号議案 2023年度 予算(案)
- 第4号議案 沖縄県看護連盟 規約改正(案)
- 第5号議案 役員選出

すべて承認いただきました



総会終了後の集合写真



沖縄県看護協会 平良孝美会長

2023年度都道府県別会議報告

【日 時】2023年9月8日(金) 13:00~15:00

【場 所】ロワジールホテル那覇

【参加者】日本看護連盟 2名(柳谷博幸常任幹事 岡山亮憲幹事)
沖縄県看護協会 2名(平良孝美会長 知念望副会長)
沖縄県看護連盟26名(下地孝子会長、副会長、幹事長、県役員、支部長、青年部長、顧問)

検討事項 「会員数の動向を見据えた会員確保のための対策」
「これまでの参議員選挙の取り組みを踏まえた現状の課題と対策」



都道府県別会議の風景



会議終了後の沖縄県の参加者



日本看護連盟 柳谷常任幹事、岡山幹事

2023年度 沖縄県看護連盟事業計画

【重点方針】 ・みえる活動 ・行動する会員 ・確かな組織づくり

目的	目 標	方 針
政治力・政策実現力の強化	1. 看護職国会議員の支援	1) 第27回参議院選挙における組織内候補者の支援 2) 看護職国会議員の支援 3) 公職選挙法の遵守
	2. 看護政策の実現	1) 沖縄県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握 3) 新型コロナウイルス感染対策に関する政策推進
	3. 看護を理解する国会議員の支援	1) 沖縄県選出の国会議員との連携強化
	4. 地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 看護対策議員連盟の活動の促進 2) 地方議員との情報交換と活動支援 3) 地方議会、行政等との情報交換
	5. 地方議員の擁立と支援	1) 地方議員候補者の支援 2) 地方議員との連携強化
組織力の強化・拡大	1. 沖縄県看護連盟の効率的な組織運営	1) 沖縄県看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営 2) 日本看護連盟と連携した効果的な運営 3) 財政等の健全化と適正化
	2. 看護連盟・看護協会との連携・協働のさらなる推進	1) 沖縄県看護協会との連携強化
	3. 会員の確保対策	1) 2023年度の会員目標数の設定と目標管理 2) 看護連盟入会の促進・退会者の防止 3) 賛助会員の入会促進 4) 若者層、学生会員の確保 5) OB世話役会活動
	4. 看護連盟の活動の強化及び周知徹底	1) 日本看護連盟との情報の共有化 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進
	5. 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進 2) 青年部活動の基盤づくりの促進
	6. 広報活動の強化充実	1) 会員に向けた広報活動の強化・充実 2) インターネットを活用した有効な情報発信 3) 選挙活動に有効なインターネット広報ツールの活用
	7. 支部組織の活動の強化・促進	1) 支部組織の活動強化・支部役員・リーダーの意識の強化
	8. ブロック協議会の活動強化・促進	1) 九州ブロック協議会の活性化
	9. 関係団体・関係組織との連携・強化	1) 看護協会以外の関係団体との交流の促進
充福会 実社員の	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援
	2. 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟及び県看護連盟内規に基づく対応
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証

2023年度 沖縄県看護連盟役員

役職名	氏 名	役職名	支部長	幹事長
会 長	下 地 孝 子	北 部 支 部	四 本 恵美子	市 川 育 子
副会長	宮 城 恵 子	中部徳洲会支部	照 屋 いずみ	外 間 美智代
幹事長	錦古里 光子	な かがみ支部	仲宗根 ゆかり	平 良 由利子
幹 事	翁 長 多代子	中 部 支 部	島 袋 綾 子	比 嘉 直 美
幹 事	中 村 洋 子	ハートライフ支部	古波倉 美登利	安谷屋 佳 子
幹 事	島 袋 操	浦 添 支 部	井 上 綾 野	川 満 晃 子
幹 事	與 座 基 子	浦 添 第 二 支 部	小 禄 理 絵	新 里 麻由子
幹 事	中 村 啓 介	那 覇 支 部	松 元 由美子	大 田 米 子
幹 事	澤 岨 治 美	南 部 支 部	小 西 智 恵	三 浦 夕 香
監 事	外 間 貴 子	友 愛 会 支 部	大 城 正 志	粟 国 あつみ
監 事	仲宗根 千代	宮 古 支 部	前 里 直 也	砂 川 礼 子
顧 問	前 田 よし子	八 重 山 支 部	上 盛 厚 子	田 幸 香 代
顧 問	村 山 政 代			
顧 問	喜友名 和 子	青 年 部 長	外 間 順 治	
顧 問	福 原 美恵子			

看護協会と看護連盟の役割・連携強化

日本看護協会：政策の提言

看護の実態に関するデータ収集、エビデンスの開発をもとにした「**政策の提言**」

日本看護連盟：政策実現

具体的に実現するため、議員を応援して政策の実現に結びつける「**政治活動**」



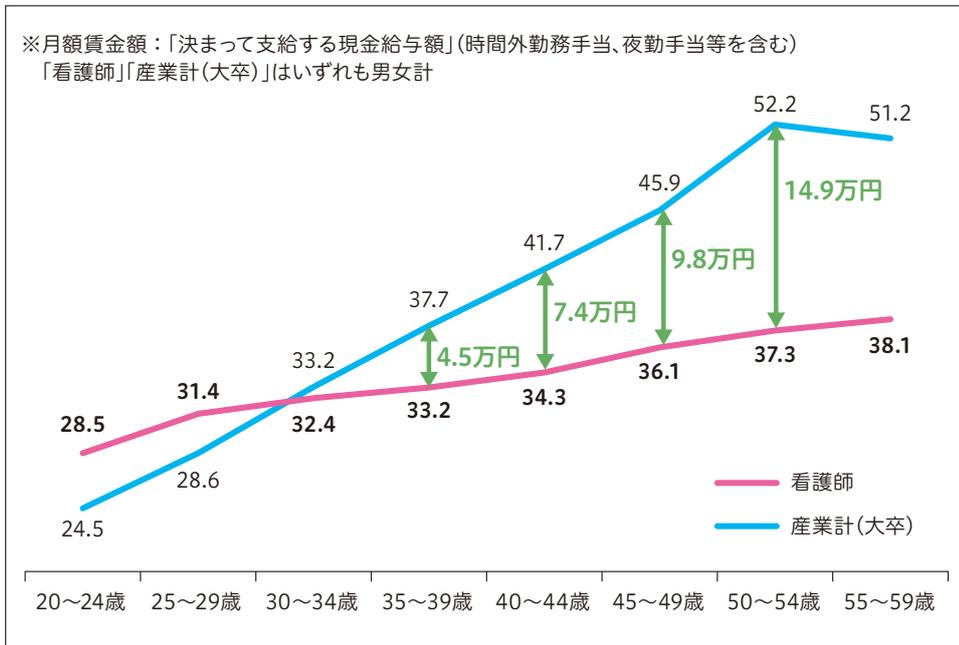
二つの団体が連携し活動することで【**政策の実現**】がなされ【**看護の未来**】に繋がります。

看護連盟と看護協会は連携して看護職の給与改定に取り組んでいます

看護師と全産業との賃金の比較

【図】年齢階層別月額賃金額（看護師・産業計（大卒））

単位：万円



20代では
全産業平均より
賃金が高め

30代以降は
差が広まる一方

就業者数が
最も多い
40代前半では
約7万円の開き

出典：令和2年賃金構造基本統計調査（厚生労働省）

看護師と全産業の賃金比較では、看護師の就業者が最も多い40代前半で、全産業と約7万円もの差があります。看護協会は、このような状況を改善するための政策提言を行い、看護連盟は、政治活動（看護職代表の議員を応援）を行っています。

2022年、「国家公務員医療職俸給表（三）改正」と「看護職員処遇改善評価料の新設」がなされました。



看護連盟会長・看護協会会長・役員の施設訪問風景

現場の困りごとを聞きました



2023年7月20日
あべ俊子議員を囲んで



2023年7月19日
中頭病院



2023年7月19日
海邦病院



2023年7月19日
牧港中央病院



2023年5月25日
南部徳洲会病院



2023年5月18日
こくらクリニック



2023年3月17日
訪問看護ステーション はな宜野湾



2023年3月17日
訪問看護ステーションおきな輪



2023年2月3日
沖縄赤十字病院



2023年2月3日
浦添総合病院



2022年11月15日
徳洲苑かふう



2022年11月28日
仲本病院

沖縄県看護連盟青年部活動



青年部部长 外間順治

沖縄県看護連盟青年部部長の外間です。看護連盟というと多くの方から政治活動や選挙活動を行っているイメージがあり、敬遠されがちです。私たちの活動は自分たちの働く環境をより良いものにしていくこと、沢山の方に看護の楽しさ、看護という仕事に誇りをもって貰いたいとの思いで活動しています。良い環境を作る為には若い世代が看護と政治について考え行動する事が大切になります。

私たち看護連盟青年部の活動を通して一人でも多くの若手看護師が、看護と政治の関係性に関心を持って貰えるきっかけになれるように頑張っていきたいと思います。

日本看護連盟全国青年部代表者ミーティング

青年部部长 外間順治

● 2023年6月12日 参議院会館

47都道府県の代表者が一同に参議院会館に集い、「現場の看護をまもること」「看護の未来を考え行動する事」を目標に掲げ活発な意見交換を行いました。また、小泉進次郎衆議院議員より自身の看護師への思い、考えを熱く講演をいただきました。

この経験を活かし、看護師の働く場がより良い環境になれるように青年部一同頑張っていきたいと思います。



看護学校訪問

北部地区医師会北部看護学校・中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校・学校法人湘央学園浦添看護学校、学校法人おもと会沖縄看護専門学校、那覇市医師会那覇看護専門学校を訪問し、卒業生に看護連盟を紹介しました。



2023年2月17日
北部地区医師会北部看護学校



2023年3月7日
学校法人湘央学園浦添看護学校

ポリナビワークショップin沖縄

● 2022年11月26日（土）

見聞色の看護 ～急変させない～として北原佑介先生をお招きし開催しました。凄く魅力あるテーマに若手看護師から特定看護師など多くの方が参加されました。参加者からも好評でした。



● 2023年7月29日（土）

参議院議員石田まさひろ先生をお招きし「これからの未来 ～看護政策～」と題しご講演頂きました。諸見里啓先生よりメンズナースおきなわの活動報告を頂きました。メンズナースがこども食堂への資金づくりに作成しているメンズナースカレンダーを多くの参加者にご購入いただきました。



支部活動紹介

◆ハートライフ支部 幹事 比嘉 暢

第26回参議院選挙活動

支部活動の大きな取り組みとして第26回参議院選挙(2022年)での選挙活動が挙げられます。支部内でも、私たち看護職の“現場の声”を国政に届ける友納理緒議員を何としても国政に送り出すことが重要と考え趣向を凝らした。

アピールポイント

- 1. 期日前投票の推進** 役員や連絡員が率先して期日前投票を行い、部署で看護部職員が投票の機会を逃さないよう、期日前投票のメリットや期日前投票所の紹介を行いました。
- 2. 上位当選のメリット説明** 上位当選することで国政での役割や活動時間が増え、私たち看護職の声が国政に届きやすくなるといった比例代表制の解説を行いました。
- 3. YouTube動画の活用** 日本看護連盟青年部が作成した「【今だ!】若手看護職の思い・届け!」のYouTube動画を活用し、選挙期間中、毎朝、各部署を行脚して視聴してもらいました

【結果】 その結果、期日前投票の確認アンケートでは、多くの看護部職員が期日前投票を行ったことが分かり、支部会としても感謝の気持ちでいっぱいでした。



新入職看護職員への入会案内活動

当支部では毎年、看護部オリエンテーションにて看護連盟の活動紹介と入会の案内を行っています。特に昨年度からは当支部に在籍する青年部の力も借り、同年代の目線で看護連盟の魅力を紹介しています。

また今年度は、看護職の倫理綱領の視点を交えて看護協会と看護連盟の役割を中心に紹介しました。新入職看護職員は、倫理綱領の継続学習の必要性やよりよい社会づくりへの貢献について、看護協会や看護連盟の活動が理解出来た様子です。今後も多くの仲間が誕生し、支部の看護職員が盛り上がっていくことを期待しています。



◆中部徳洲会支部 支部長 照屋 いずみ

中部徳洲会支部の結成

この度「中部徳洲会支部」を結成しました。福原美恵子前会長より、会員数も多く支部結成することで活動が容易になり、連盟活動が活性化するとのお話をいただき、令和5年4月支部結成の運びとなりました。

支部役員としては、支部長1名、幹事長1名、幹事5名、青年部2名の役員構成で、毎月第1火曜日定例会を開催し活動を進めております。今年度の目標は、支部組織の運営推進と会員確保を掲げております。特に中途入職者の加入促進と関連施設への連盟活動の広報に力を入れていきたいと考えております。また、多くの会員が連盟活動に理解を示すとともに、若手会員の力を結集し、さらなる連盟活動への関心度を高めるために青年部ワーキンググループを結成する準備を進めております。今年度は若手会員の育成と支部会員の連盟活動への意識強化も図っていききたいと思います。

「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」看護連盟のスローガンと共に、現場で働いている看護職の「現場の声」を拾い上げ、現場から国政に声を届けていけるように支部活動を活性化させていく所存です。下地会長をはじめ県役員、支部役員の皆様のご協力とご指導を宜しく致します。



◆八重山支部支部長 上盛 厚子

コロナ禍の離島における支部活動の試行錯誤

八重山支部は、石垣島徳洲会病院1名、医療法人上善会かりゆし病院1名、個人会員3名の計5名で八重山支部役員として活動しています。又、県立病院の代表にも役員会に参加してもらっています。

昨今のコロナ禍にて病院への出入りや病院職員の他者との関わりの制限など規制がありなかなか役員会も開催できない状況がありましたが、ラインで連絡網を作成し情報の共有に努めています。1期中に、25回参議院選挙を経験。今は、多職種からも国政に参加しているので、看護は私たち看護職がしっかり現場の声を国政に届けることをしていかないといけないことを痛感しています。そのためには看護職議員の先生方がどのような政策を打ち出し、活動し、その成果を知ってもらう努力をしていかないといけないと思います。現在、3施設の会員確保に対しては支部役員、看護部長に依頼しています。

転勤が多い離島ではなかなか会員が増えていかない現状があります。今後、入職時のオリエンテーション等に参加し、看護連盟についての理解をしてもらうこと。リーダー研修やポリナビワークショップin沖縄の参加を促していく必要があります。旅費についても検討が必要になってきます。今後の活動として看護の未来に向かって

①看護連盟支部の活動として以前発行していた連盟支部だよりの発行、②訪問看護ステーション、療養型施設への訪問、③若者層への連盟について理解を求める等を活動として行っていきたいです。



支部役員研修会の様子

退任ごあいさつ



「看護連盟役員を終えて」～伝えたいこと 前会長 福原美恵子

沖縄県看護連盟の役員を担って早16年、会員の皆様には多大なご協力をいただき、無事退任することが出来ました。心よりお礼を申し上げます。2期6年の会長在任中は、新型コロナウイルス感染症で、研修、施設訪問、事業等を縮小しながらも、皆様のご協力で事業が進められたことに感謝申し上げます。

私は16年間で5回の参議院選挙に関わりました。その都度、役員は候補予定者に同行し、施設訪問や、関連団体と懇親を深めてきました。施設訪問では看護現場の問題が多く聞こえてきます。自助努力も大切ですが、政治の力も不可欠です。現場の声を看護職代表に届け、生き生きと働き続けられる環境を作っていきたいものです。

日本看護連盟創立から64年、県看護連盟創立46年になりました。今更申し上げる事ではありませんが、看護連盟は看護協会の政策実現の目的で設立され、看護職代表を国政に送り出す役割を担っています。これまで、予定候補者の認知度と獲得票は比例せず、会員数にも達していません。目標数を達成するには私たち会員の投票行動が大切になります。それと得票数は当選後の議員活動に大きく影響していきます。看護職代表を高得票で国政に送る必要性をもう一度考えてみましょう。そして、看護連盟に一人でも多く加入する事で強い組織になります。スローガンにありますように「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」、日頃から政治について話し合う環境を作っていきたいものです。



～未来から期待と希望～ 友愛会支部長 有銘淳子

9年前、看護連盟活動について十分に知らずに支部長になり責任の重さと重圧があったことを覚えています。その後、県連盟役員の皆様、諸先輩の方々にご指導頂き、パワーを貰い、友愛会支部長として3期務めることができました。役員の皆様、会員の皆様に心より感謝申し上げます。

連盟活動に関わり、国政の場で看護の代表としてご尽力されている国会議員の先生方の声を身近に感じ、支部長の役割は看護政策提言への政治活動だと認識しました。施設支部として組織内では選挙のたびに政治参画(投票)を呼び掛け、看護の代表議員を送り出すことに取り組みま

した。現場における看護職の政治活動への関心度が低いのも実感しました。加速する高齢化現象で看護の現場も地域へと広がり、SNSの登場で情報化時代がさらに進出し、コロナ禍という未知の社会で看護職は闘い続けています。今こそ、看護職の活動と誇りを可視化し、働く環境を良くしていく機会だと思えます。支部長としての役割を後任に繋ぎ、会員の一人として今後も看護政策実現に微力ながら尽くしたいと思えます。「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」は、どの世代にも響くスローガンだと思えます。国政に期待し看護職が希望をもって活動できる社会の実現を願っています。

看護連盟へ入会しよう

看護政策実現に向けて一緒に活動しましょう! 目標4,000名

正会員：会費8,000円 (日本看護連盟本部会費：5,000円、沖縄県看護連盟会費：3,000円)

賛助会員：会費1,000円

看護学生会員：無料

新任ごあいさつ



県幹事 澤岨治美

この度、沖縄県看護連盟県幹事の任をうけました澤岨治美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は、これまで、看護連盟の活動に参加している時、諸先輩方が看護に対する情熱と熱意をもって取り組んでこられたことや、看護現場の様々な問題を解決するために国政の場に看護の現場を熟知している看護の代表

者を送る事の重要さを学びました。まだまだ私たちの働く医療現場は多くの問題を抱えています。看護職一人一人がやりがいを持ち働き続けられるよう「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」スローガンのもと現場の声を届けていきます。会長をはじめ諸先輩方のご指導を頂きながら、看護連盟の活動に努力いたす所存です。

どうぞ、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



友愛会支部長 大城正志

この度、看護連盟友愛会支部長という役割を引き受けることになりました、大城正志と申します。

看護職が元気で、安心して安全に働き続けられるよう労働環境や職場環境の整備を行う必要があります、その為には、看護連盟のスローガンにある「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」私たちの願いは現場の課題と現場の声をしっ

かりと国政に届けること、活動内容をタイムリーに情報伝達していきたいと思えます。現場の声を国政へ届け看護政策を実現できるよう看護連盟の必要性や活動への理解を、病棟連絡員と共に広めていけるよう支部として取り組んでいきたいと思っております。

支部の皆さんと共に活動してまいりたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願いします。



中部徳洲会支部長 照屋いずみ

この度、看護連盟中部徳洲会支部長の任を受けました照屋いずみと申します。改めて責任の重さを感じております。

当支部は令和5年4月沖縄県看護連盟中部徳洲会支部として新たに承認され活動を開始しております。2023年度の会員数は351名となっております。支部結成後は支部役員と協力しながら支部活動の活性化に向け活動を進めています。看護職が抱えるさまざまな問題の

中には、政治的手段によってしか解決できない問題があります。看護職の代表を国政に送り、看護協会の目指す政策や意見を反映させ、解決していく必要があります。そのためには、看護連盟の組織力強化・拡大が求められます。当支部としても会員数の確保対策に力を入れ、会員増につなげていきたいと思えます。

今後も皆様の支援を頂きながら支部長として頑張っていきますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



浦添支部長 井上綾野

この度、看護連盟浦添支部長という役割を担うことになりました、井上綾野と申します。これまで支部幹事として活動してきましたが、改めて責任の重さを感じております。

新型コロナウイルス感染症によって、世の中が変化する中、私たち看護職は一人ひとりが使命感と責任感を持ち看護の現場で患者さんと向き合ってきました。看護職の労働環境

が改善され、看護職一人ひとりがやりがいをもって働いていけるよう、現場から国政に声を届けていくことが大切な役割だと考えます。その為に、多くの看護職に看護連盟という組織を知っていただき、理解してもらおう事、また一人でも多くの会員を増やし、現場の声を届けていけるよう活動していきたいと考えています。

まだまだ力不足ではあると思えますが、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

ひとりで悩んだり
孤独を感じたりしていませんか？



＊訪問看護ステーション＊

サンライズ
Sunrise

ご案内

お気軽にご連絡ください

0980-72-3556

訪問看護ステーション サンライズ
〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里1541-2



私たちは **精神疾患** に特化した
訪問看護ステーションです。

精神訪問看護ってなに？

精神に障がいを持ちながらも地域で生活していけるよう、
看護師が定期的に訪問し、相談や必要な支援を行います。

こんなときに相談してはどうですか？



眠れない



昼と夜が
バラバラ



薬がちゃんと
飲めない



相談相手が
いない



買い物
どうしよう

他にも…

- ・人と話したり付き合うことができない。一日誰とも話す機会がない。
- ・家族とどのようにして関わったらいいかわからない。
- ・社会資源（福祉やサービス）の活用方法がわからない。

※思い当たる症状がありましたら、ご相談ください。

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める
充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩む
お手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等
の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 高齢者の睡眠ケア
- 学校保健委員会

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに関しましては、二次元コードより
お問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



株式会社
コンピュータ沖縄

代表取締役 名護 宏雄

〒901-2132 浦添市伊祖4-8-2 サンライズビル1F
TEL:098-879-8433 FAX:098-879-8435
<https://www.c-okinawa.co.jp>



(株)東洋企画印刷

代表取締役 大城 孝



〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町 4-21-5
TEL.098-995-4444 FAX.098-995-4448
E-mail:info@toyo-plan.co.jp URL:<https://toyo-plan.co.jp/>

編集後記

2023 年度、沖縄県看護連盟は下地会長を迎えて新体制になりました。新たな体制のなか、看護連盟と看護協会
が協働して、現場の課題解決に取り組んでいきましょう。皆様のご協力をよろしくお願いします。

広報委員 / 下地孝子・與座基子・中村洋子・松元由美子・外間順治・宮城恵子